

## 連絡事項

### <受付>

11月26日(土) 9:30から、メイン会場入口付近で受付を始めます。大会参加費と懇親会費をお支払いください。なお、新年度の会費も受け付けます。

### <名札>

名札は大会参加証です。開会中は大会会場のほか、展示室での展示見学や植物園内へもお入りいただけます。館内では常に着用してくださるようお願いいたします。なお、2日目のお帰りの際は、名札は受付へお返してください。

### <懇親会>

館内ナウマンホールで第1日目の18:00から開催します。当日での新規お申込みについては、受付でご相談ください。

### <休憩室>

館内の新実習室J(全日)と集会室S(分科会時間帯以外)・会議室K(同)が休憩室です。

### <喫煙>

館内、敷地内ふくめ、すべて禁煙です。喫煙所への案内はTの位置に案内が貼ってあります。

### <昼食>

事務局では弁当などの準備はしませんので、各自でご用意ください。カフェテリア「フォレスト」もありますが、座席数は多くありません。長居駅までの間に、ファーストフード、コンビニ、ファミレスもありますが、弁当ご持参で休憩室(上記)でとられることをお勧めします。

### <同定会>

第2日目の9:30からネイチャーホールで一般公開にて行います。甲虫学の後進育成に鑑み、大会参加のみなさまには広くご協力をお願いいたします。見てもらう標本をお持ちの際は必ず、マウントし、データラベルを付けてください。

### <研究発表者・分科会世話人へ連絡>

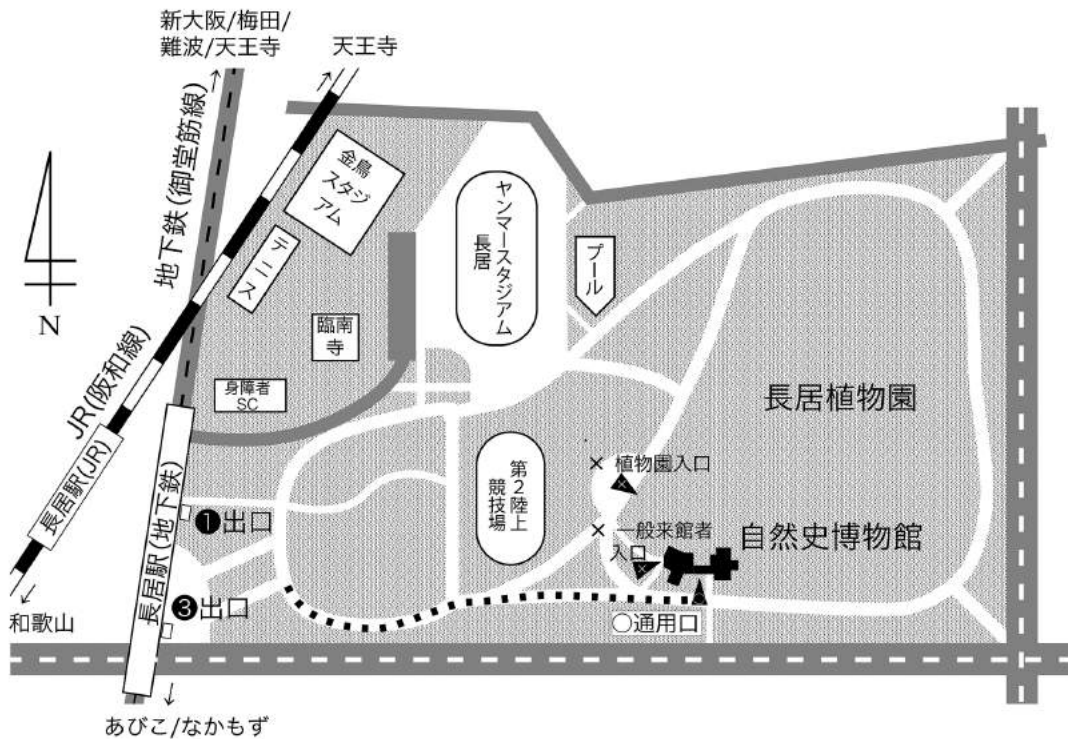
・口頭発表は質疑含めて15分です。発表会場のパソコンはOSがWindows10、ソフトは

PowerPoint 2010 です。ご持参のパソコンやスマホも使用可とします。Mac や HDMI 経由の場合は各自の対応アダプタを必ず持参してください。

- ・ポスターは幅 90 cm × 高さ 180 cm のスペースを用意いたしますので、それに収まるよう作成してください。1 日目朝から貼付可能ですが、2 日目午前のセッションの時間帯は必ず貼っておくようにしてください。郵送による事務局（会場担当）の代理貼付も受け付けます。
- ・分科会は 2 部制にしているため、時間厳守をお願いします。プロジェクターは事務局で準備しますが、講堂 L（雑甲虫、水生甲虫を予定）以外はパソコンがありませんので、各世話人で準備するか、事務局にご相談ください。

### <博物館案内>

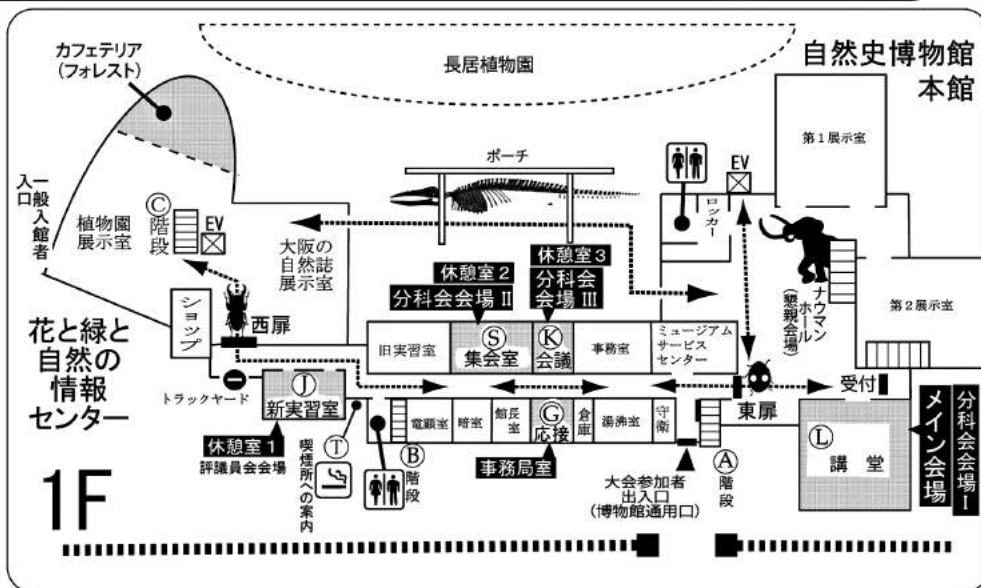
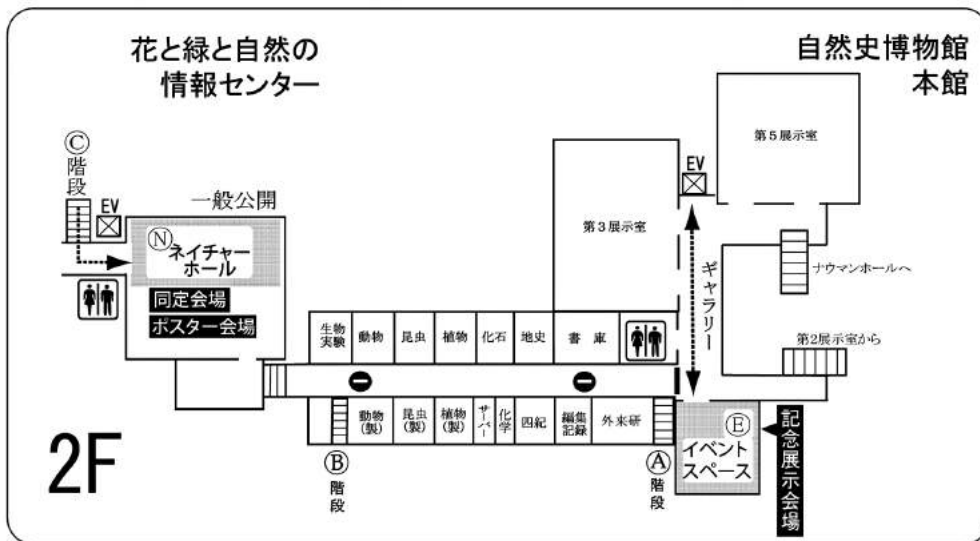
通用口からお入りください。



### 会場案内図

## 大阪市立自然史博物館・館内案内図

展示室内および ◀-----▶ の印のところは、名札着用で通行できます。



## 大会日程

(時間や会場は変更になることがあります)

・ 1日目：11月26日(土)

- 09:30～ 大会受付開始  
 10:00～12:00 評議員会 (J: 新実習室)  
 13:00～14:45 公開講演会「関西甲虫研究史」(L: 講堂)  
 15:00～16:15 研究発表(口頭) 1 (L: 講堂)  
 16:30～17:45 総会・学会賞授与式・受賞講演 (L: 講堂)  
 18:00～20:00 懇親会

・ 2日目：11月27日(日)

- 09:30～11:00 甲虫標本同定会・ポスター研究発表 (N: ネイチャーホール [公開])  
 11:00～12:00 研究発表(口頭) 2 (L: 講堂)  
 13:00～15:00 研究発表(口頭) 3 (L: 講堂)  
 15:10～16:10 分科会・前半(雑甲虫L, カミキリS, ゴミムシK)  
 16:20～17:20 分科会・後半(水生甲虫L, ゾウムシS, ハネカクシK)

【公開講演会】 1日目： 13:00～14:45

基調講演：澤田 高平 (高槻市)

関西甲虫研究史 – 旧甲虫学会興隆期を語る –

【論文賞記念講演】

演者・演目：当日のご案内となります。

【一般講演：口頭発表】

**1日目 15:00~16:15 (L: 講堂)**

- O-1 ○河上 康子 (大阪市博・外来研), 山崎 一夫 (大阪市環科研), 大橋 和典 (豊中市)  
 ダンダラテントウ大阪個体群の季節消長と寄主利用  
 O-2 棚橋 薫彦 (産業技術総合研究所・学振PD)  
 クワガタの酵母はどこから来たのか?  
 O-3 野村 周平 (国立科学博物館)  
 ハネカクシ上科甲虫における後翅基部前縁微細構造の走査型電子顕微鏡 (SEM) 観察  
 O-4 牧田 習 (北大・農)  
 日本・台湾産コブゴミムシダマシ科 Zopheridae に関する知見  
 O-5 丸山 宗利 (九大・博物館)  
 アジア産ヒゲブトオサムシ族の分類の進歩

**2日目 11:00~12:00 (L: 講堂)**

0-6 瑤寺 裕 (東農大・農・昆虫)

日本産チビタムシ族における雌雄交尾器の比較形態学的研究

0-7 ○荒谷 邦雄・細谷 嗣・小田切 顕一・楠見 淳子 (九大・院・比文)

ペット甲虫類をめぐる国内外来種問題の現状

0-8 林 成多 (ホシザキ野生生物研究所)

走査型電子顕微鏡によるヒメドロムシ科幼虫の体表構造の観察

0-9 ○久保田 耕平 (東大・院農), 曾田 貞滋 (京大・院理)

RAD シーケンス法による日本産ルリクワガタ属の系統解析

**2日目 13:00~15:00 (L: 講堂)**

0-10 ○朱 雪姣 (東大・院農), 金 鍾國 (江原大学校・森林環境保護), 久保田 耕平 (東大・院農)

Phylogeography of *Platycerus hongwonpyoi* (Coleoptera, Lucanidae) in South Korea based on mitochondrial COI gene

0-11 ○蔡 正隆 (国立中興大学・昆虫, 東大・院農), 久保田 耕平 (東大・院農), 葉 文斌 (国立中興大学・昆虫)

Population structure and genetic differentiation of a widespread lineage in *Neolucanus swinhoi* complex (Coleoptera, Lucanidae) across Taiwan Island

0-12 ○小林 卓也, 曾田 貞滋 (京大・理学・動物生態)

菌食甲虫ツヤツツキノコムシの分子系統と地理的分布, 形態, 寄主利用パターン

0-13 池田 大 (愛媛大・農・環境昆虫研)

雄交尾器内袋骨片形質に基づいた *Apalochrini* 族 (コウチュウ目: ジョウカイモドキ科: ジョウカイモドキ亜科) の再検討

0-14 ○伊藤 哲成, 吉富 博之 (愛媛大・農・環境昆虫研)

日本と台湾に生息するデバヒラタムシ属 (コウチュウ目, デバヒラタムシ科) について

0-15 ○十川 晃一, 吉富 博之 (愛媛大・農・環境昆虫研)

日本産ツヤテントウダマシ属 *Lycoperdina* (テントウダマシ科: オオテントウダマシ亜科) の分類学的再検討

0-16 草野 憲二 (郡山市)

福島県いわき市におけるカワラハンミョウの生息状況について

0-17 ○荻部 治紀 (生命の星・地球博物館)・森 英章・オガサワラハンミョウ再導入プロジェクトチーム

オガサワラハンミョウの域内・域外保全の現状について

## 【ポスター発表】(N: ネイチャーホール)

- P-1 初宿 成彦 (大阪市立自然史博物館)  
近畿における 2016 年までのヒラズゲンセイの分布
- P-2 ○亀澤 洋 (川越市), 浅野 真 (帝装化成), 野村周平 (国立科学博物館)  
日本産 Ebaeini 族 (ジョウカイモドキ科) の種構成について
- P-3 ○安井 通宏, 初宿 成彦, 大阪市立自然史博物館淀川水系調査グループ甲虫班  
淀川汽水域におけるミズギワゴミムシ類の生息環境と発生量について
- P-4 土岐 和多瑠 (京大・生態学研究センター)  
ホホビロコメツキモドキ属 (オオキノコムシ科コメツキモドキ亜科) における頭部の非対称性と産卵基質の関係
- P-5 ○鈴木 良芽 (九大・院・地社), 荒谷 邦雄 (九大・院・比文)  
ノコギリクワガタの雄は, どのくらいで敗北から立ち直るのか
- P-6 大阪ヤマトオサムシダマシ保存会  
大阪市立自然史博におけるヤマトオサムシダマシの保全活動
- P-7 ○高谷 佑生, ○岡 祐達, ○丹羽 光一郎, ○山田 龍冴, 池永 明史, 水谷 誠 (清風中学・生物部)  
八尾市高安地域における地表性昆虫の調査
- P-8 細谷 忠嗣 (九州大学決断科学センター)  
日本産コガネムシ上科甲虫 DNA バーコーディングプロジェクトの進行状況 その2
- P-9 ○塚本 珪一 (京都市), 西台 律子 (日本鳥学会)  
京都御苑のコウチュウ類・宗方神社に営巣するアオバズクの食痕からの考察

## 【分科会】

- ◎雑甲虫分科会 (世話人: 生川 展行) 2日目 15:10 ~ 16:10 (L: 講堂)
- D-1 亀澤 洋 (川越市)  
日本産 *Scaptia* 属 (ハナノミダマシ科ハナノミダマシ亜科) について
- D-2 平野 幸彦 (小田原市)  
日本産 *Stephostethus* 属 (ヒメマキムシ科) の再検討  
- ムナボソヒメマキムシの正体を探る -
- ◎カミキリ分科会 (世話人: 山迫 淳介) 2日目 15:10 ~ 16:10 (S: 集会室)
- D-3 松田 潔 (大阪府大・農)  
ベトナム南部のカミキリムシ
- ◎ゴミムシ分科会 (世話人: 伊藤 昇) 2日目 15:10 ~ 16:10 (K: 会議室)
- D-4 森 正人 (環境科学大阪株式会社)  
兵庫県のゴミムシ最近の話題





## 講演要旨

### 基調講演

関西甲虫研究史 – 旧甲虫学会興隆期を語る –

澤田 高平（高槻市）

「近畿甲虫同好會」の創立、昆蟲學評論の発行など、遺された事実を 70 年前にさかのぼって当時その場に居合わせた者として、演者らが持つ記憶、断片的な思い出を会員諸氏に公開することも、戦後の甲虫分類学の発展を知る上で意義あることではないかと考える。当時、会の中心的立場におられた方々、また戦後日本の新しい甲虫学者として指導的立場におられた中根猛彦博士を中心にご紹介してゆきたい。

### 論文賞記念講演

未定：当日のご案内となります。

### 一般講演：口頭発表

座長は前講演者が務めること：ただしプログラム最初の O-1,O-6,O-10 は事務局が座長をします。

以下、ここの講演の要旨は  
当日、会場で配布する冊子に  
掲載します。